



経営支援員と二人三脚



61人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

さまざまな子どもへのニーズに寄り添う インクルーシブ・ブランドを目指して

支援員や専門家のサポートは 起業家の心強い味方

新卒でトヨタ自動車に入社し、10年間にわたって商品企画に携わってきました。自身の経験をもとに、障がいのある子どもたちをはじめとする多様なニーズに寄り添うプロダクトの開発を決意し、2020年4月に起業。大企業を離れて一からものづくりに取り組むにあたり、パートナー企業の開拓や資金調達など課題は山積みでした。補助金を活用しようにも、自社に適したものをどのように選定すれば良いのかすら分からず、京商のビジネスサポートデスクを訪ねました。自社のニーズにあった補助金の紹介だけでなく、申請に必要な事業計画書の作成過程でも的確なアドバイスを頂いたので、自社の強みや商品の価値、将来



代表取締役
松本 友理さん

野村支援員

ビジョンを見つめ直し、ブラッシュアップするきっかけとなりました。

パートナー企業の開拓や資金調達といったスタートアップにとって難しい課題に取り組む際には、京商の専門家派遣制度を活用して、疑問を解消することができました。

創業して一年余り、現在では国内外のトップレベルのメーカーやデザイナーと協力しながらプロダクトを開発し、金融機関やベンチャーキャピタルからの資金調達も進めています。京商の皆さんは、様々な経営相談に対して、いつでも最大限のサポートをしてくれる心強い応援団だと感じています。

プロダクトの認知向上に向け、 「京商イブニングピッチ」で登壇

今年3月、自社の製品やサービスを金融

株式会社 Halu

(代表) 松本 友理
(URL) <https://ikoudesign.com/>
(E-mail) support@ikoudesign.com



多様な個性をもつ子どもたち、家族のニーズを包み込むインクルーシブ・ブランド「IKOU」を立ち上げ、ユーザー起点のものづくりを進めている。主要商品の「ポータブルチェア」は、手軽に持ち運びができ、家族の「出かけたがたい」気持ちの後押しする。子どもが、快適でごきげんに座っていただける構造で、外出先でも家の中でも、幼児の姿勢を正しく保持するチェアとして大活躍。2021年秋に発売予定。着脱が容易なキッズウェアも開発中。



インクルーシブ・ブランドとは…

能力、願望、障がい、人種、ジェンダーなど、ユーザーのあらゆる多様性を考慮し、一人ひとりのニーズを起点としたものづくりを追求するブランドのこと。

機関や大手企業にアピールする「京商イブニングピッチ」に登壇。資金調達、アクセラレーションプログラム等のお声がけを頂き、ネットワークを広げることができました。

今秋のプロダクト発売に向けて、B to Bの販路開拓にも積極的に取り組んでいます。現在も京商の支援を受けながら、開発中のポータブルチェアが活用できそうな施設や企業へのアプローチを進めているところです。

起業は何かかもが新しい経験で今後多くの課題に直面すると思いますが、京商の支援メニューも活用しながら乗り越え、多くの子どもたち・ファミリーの生活を豊かにできるよう、事業を成長させていきます。